

第5回震災遺構検討会議（大川小学校旧校舎） 概要

日 時：平成29年3月28日（火） 午後6時00分～午後8時00分

会 場：河北総合支所2階 会議室

概 要：

- (1) これまでの「震災遺構検討会議（大川小学校旧校舎）」の振り返りについて
 - ・第1～4回「震災遺構検討会議（大川小学校旧校舎）」で出された意見等について確認した。
- (2) 震災遺構（大川小学校旧校舎）の整備等に関する協議について
 - ・震災遺構整備方針（案）について意見を交換した。

会議での主な意見

- ・警備を置くなど、整備工事期間中の安全について考えてほしい。
- ・現状、県道に大型ダンプが通って危険なので、整備完成までの安全対応をしてほしい。
- ・不審者の侵入を考慮した対策をする。
- ・万が一避難誘導を行う場合、避難場所確保の必要がある。管理棟から防災無線を流す。
- ・校舎内が雨ざらしにならないように、風雨の対策をする。
- ・安全に配慮して見学できるものを作り、避難ルートを提示する。
- ・管理人やガイドが同行するルールを設け、校舎を公開する。
- ・校舎内を見て学ぶ際の順路決めをする。
- ・校舎は柵の外から見ればよい。
- ・校舎内部を立入禁止にする場合、どういった場合であれば中に入れるのかを決める。
- ・プール、体育館跡、屋外ステージ、廊下などは全部残す。
- ・校舎以外を公園化するなら、最低でも1mは土を盛る。排水のことも考え、芝生にするにしても盛土は必要である。
- ・1m50cmは土を盛らないと桜の木が育たない。桜は水に弱い。
- ・緑に囲まれた静かな祈りの空間から、西側に計画されている道路は不要。
- ・管理棟には語り部が活動できるスペースが必要。規模は展示スペースを含めて検討。
- ・5、6月は来訪者が増えることが予想されるので、杭とかロープとかで今から整備しておかないと間に合わないかもしれない。
- ・校門はもとの場所に戻し、校庭はそのまま残してほしい。
- ・道路から見えないように配慮してほしい。桜が元々あったので、桜がいい。
- ・元のフェンスの形に植樹したい。
- ・他の人が来ているときに、心理的に行けなくなっている遺族に配慮する。
- ・生活していた場所であることが分かるような残し方をする。
- ・今設置してある慰霊碑を、別の場所に移動して、伝承施設とは別にする。
- ・遺族による清掃、ボランティアによる草取り、ゴミ拾いは今後も続けていき、他県の高校生や大学生を、清掃ボランティアとして受け入れる。
- ・家が立ち並んでいた場所に花を植えるなど、震災前の状況が思い出せるようにする。
- ・供養祭の時など、風が強くてほこりが舞うので、対策してほしい。
- ・早い段階で予算上の制約を共有し、前向きな議論をする。
- ・地域で将来的にどういった伝承活動をしていくのかを検討する。子ども達の意見を聞き、一緒に検討し、活動していく。
- ・震災遺構検討会議が終了した後も、遺構として残すべき目的・手段等について、行政と担い手の間で対話が保たれるような仕組みにしていく。